



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社S D Sホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 1711 URL <https://shodensya.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 悠介  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 田中 圭 (TEL) 03-6821-0004  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

		売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	3,886	%	百万円	213	%	百万円	%	百万円	%	百万円
2025年3月期第3四半期		2,957			50		145	—	57	—	△34

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △2百万円( —%) 2025年3月期第3四半期 △84百万円( —%)

※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円	銭
2026年3月期第3四半期	△3.35	—	
2025年3月期第3四半期	△10.33	—	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産		自己資本比率	
		百万円	百万円	%	
2026年3月期第3四半期	5,324	780		11.6	
2025年3月期	4,705	738		12.9	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 618百万円 2025年3月期 606百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	5,035	24.8	205	321.4	120	—	10	—	△78	—	△7.04	

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

- 連結業績予想の修正については、本日（2026年2月13日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
- 1株当たり当期純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2026年3月期第3四半期における、新株予約権の行使による株式の発行を考慮した期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数 (普通株式)
- |                      |            |             |            |             |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2026年3月期3Q | 10,432,773株 | 2025年3月期   | 10,232,773株 |
| ② 期末自己株式数            | 2026年3月期3Q | 110株        | 2025年3月期   | 110株        |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計)    | 2026年3月期3Q | 10,254,118株 | 2025年3月期3Q | 9,854,311株  |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、景気は緩やかに回復いたしました。一方で、不安定な国際情勢を背景とした資源・エネルギー価格の高騰や物価上昇に加え、米国の通商政策、長引く円安等依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは「私たちを取り巻く脅威に対処し、遠い未来・近い将来・今の社会に貢献する」ことを経営理念として活動して参りました。地球温暖化・災害・衛生リスクという3つの脅威に対し、省エネルギー設備の導入、その他施設改修等のソリューションに加え、リノベーション事業に進出し、グループをあげて受注活動を行って参りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,886百万円(前年同期比928百万円増)となりました。

損益に関しましては、販売費及び一般管理費が498百万円(前年同期比118百万円増)となり、営業利益145百万円(前年同期比140百万円増)、経常利益57百万円(前年同期 経常損失48百万円)となりました。純損益に関しましては、親会社株主に帰属する四半期純損失34百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失101百万円)となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

#### (省エネルギー関連事業)

省エネルギー関連事業におきましては、省エネルギー事業の推進により、顧客企業にエネルギー・ソリューション・サービスの提供を行っております。また省エネルギー関連における設備導入、企画、設計、販売、施工及びコンサルティング業務を行っております。受注時採算性の改善や原価低減により利益を確保することに注力いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高448百万円(前年同期比111百万円減)、セグメント利益は83百万円(前年同期比41百万円増)となりました。

#### (リノベーション事業)

リノベーション事業におきましては、リノベーション及びリノベーション後の物件販売、資産運用に関するコンサルティング、宅地建物取引業、不動産の分譲、売買、賃貸及び管理並びにそれらの仲介及びコンサルティングを行っております。中古マンションの成約件数増加による堅調な業績が寄与したことから大幅な増益を達成いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高3,438百万円(前年同期比1,039百万円増)、セグメント利益は242百万円(前年同期比117百万円増)となりました。

### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末より619百万円増加し、5,324百万円となりました。これは主に、販売用不動産204百万円、建物201百万円、土地368百万円が増加したことと、現金及び預金41百万円、売掛金57百万円が各々減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末より576百万円増加し、4,543百万円となりました。これは主に、短期借入金133百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む。)529百万円が増加したことと、未払金114百万円の減少等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末より42百万円増加し、780百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失34百万円を計上したことと非支配株主持分の増加32百万円、新株予約権の行使により資本金、資本剰余金が各々22百万円増加したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期の実績および足元の業績動向を踏まえ、2025年5月13日に公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」から修正しております。 詳細につきましては、本日(2026年2月13日)公表しました「通期連結業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」をご参照ください。

#### (4) 継続企業の前提に関する重要な事象等

当社グループは、2025年5月に策定した中期事業計画に基づき、省エネルギー関連事業、リノベーション事業の推進により安定した収益を創出することに注力した結果、省エネルギー関連事業、リノベーション事業においては、営業利益の黒字化ができておりますが、親会社を含む管理コストを入れた連結ではマイナスの業績となっております。この現状をふまえて資金繰りに重要な懸念が発生する可能性があることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象及び状況が存在していると認識しております。この状況を解消すべく、当社取締役である吉野勝秀氏と2025年6月26日の取締役会決議において極度額3億円のコミットメントライン基本契約を締結し資金手当てをしていただく旨、同意を得ており、運転資金を十分に賄える状況と判断しております。従いまして、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	499,637	457,846
売掛金	69,349	11,925
販売用不動産	1,849,518	2,053,831
前払費用	14,821	13,677
その他	166,787	126,007
貸倒引当金	△3,198	△2,913
<b>流動資産合計</b>	<b>2,596,916</b>	<b>2,660,375</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	527,053	728,969
車両運搬具（純額）	11,497	8,242
機械及び装置（純額）	132,608	145,029
工具、器具及び備品（純額）	1,241	1,503
土地	905,548	1,273,864
<b>有形固定資産合計</b>	<b>1,577,948</b>	<b>2,157,609</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	384,638	364,197
その他	2,850	2,280
<b>無形固定資産合計</b>	<b>387,488</b>	<b>366,477</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	21,930	21,820
敷金	18,517	18,402
長期前払金	55,000	55,000
破産更生債権等	10,308	10,308
繰延税金資産	8,124	5,462
その他	44,527	44,334
貸倒引当金	△15,706	△15,706
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>142,702</b>	<b>139,622</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,108,139</b>	<b>2,663,710</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,705,055</b>	<b>5,324,086</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	9,451	8,674
短期借入金	1,809,192	1,942,839
1年内返済予定の長期借入金	153,665	179,697
未払金	147,101	32,372
前受金	7,892	16,082
未払法人税等	29,719	54,871
その他	132,609	136,495
<b>流動負債合計</b>	<b>2,289,630</b>	<b>2,371,034</b>
<b>固定負債</b>		
長期未払金	11,000	2,000
長期借入金	1,552,664	2,056,023
事業整理損失引当金	75,000	75,000
資産除去債務	38,307	38,721
繰延税金負債	279	324
<b>固定負債合計</b>	<b>1,677,250</b>	<b>2,172,069</b>
<b>負債合計</b>	<b>3,966,881</b>	<b>4,543,104</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>2,165,060</b>	<b>2,187,944</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>2,263,039</b>	<b>2,285,923</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>△3,821,697</b>	<b>△3,856,007</b>
<b>自己株式</b>	<b>△69</b>	<b>△69</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>606,333</b>	<b>617,791</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>600</b>	<b>691</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>600</b>	<b>691</b>
<b>新株予約権</b>	<b>920</b>	<b>—</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>130,319</b>	<b>162,499</b>
<b>純資産合計</b>	<b>738,173</b>	<b>780,982</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,705,055</b>	<b>5,324,086</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	(単位:千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,957,939	3,886,411
売上原価	2,572,176	3,241,695
売上総利益	385,762	644,715
販売費及び一般管理費	380,012	498,804
営業利益	5,749	145,911
営業外収益		
受取利息	93	310
受取配当金	89	89
受取手数料	5,000	—
助成金収入	—	400
その他	502	308
営業外収益合計	5,686	1,108
営業外費用		
支払利息	45,657	71,982
支払手数料	11,767	16,258
持分法による投資損失	—	245
その他	2,384	1,488
営業外費用合計	59,809	89,974
経常利益又は経常損失(△)	△48,373	57,045
特別利益		
固定資産売却益	131	17
ゴルフ会員権売却益	—	4,111
資産除去債務履行差額	7,262	—
新株予約権戻入益	—	552
特別利益合計	7,394	4,680
特別損失		
固定資産除却損	15,700	—
特別損失合計	15,700	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△56,679	61,725
法人税、住民税及び事業税	28,456	61,194
法人税等調整額	△176	2,661
法人税等合計	28,279	63,856
四半期純損失(△)	△84,959	△2,130
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,813	32,179
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△101,772	△34,310

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△84,959	△2,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	90
その他の包括利益合計	△8	90
四半期包括利益	△84,968	△2,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,781	△34,219
非支配株主に係る四半期包括利益	16,813	32,179

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、第9回新株予約権の行使により、資本金、資本剰余金がそれぞれ22,884千円増加し、当第3四半期連結会計期間末における資本金は2,187,944千円、資本剰余金は2,285,923千円となりました。

## (セグメント情報等の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上額 (注) 2
	省エネルギー 関連事業	リノベーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	559,661	2,398,277	2,957,939	—	2,957,939
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	559,661	2,398,277	2,957,939	—	2,957,939
セグメント利益	42,220	125,382	167,602	△161,852	5,749

(注) 1. セグメント利益の調整額△161,852千円は、全社費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ONEEXEを連結の範囲に含めております。これにより省エネルギー関連事業においてのれんが308,123千円発生しております。なお、のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上額 (注) 2
	省エネルギー 関連事業	リノベーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	448,189	3,438,222	3,886,411	—	3,886,411
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	448,189	3,438,222	3,886,411	—	3,886,411
セグメント利益	83,753	242,748	326,501	△180,590	145,911

(注) 1. セグメント利益の調整額180,590千円は、全社費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

仕入れの進捗等により「リノベーション事業」のセグメント資産が、前連結会計年度末に比べ、119,748千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	33,090千円	46,712千円
のれん償却額	11,766千円	20,440千円